



大収穫の稲刈り!

わたしたちが住む角田市は、宮城県でも米どころとして有名な地域です。北郷小学校の5年生

米作り学習

手作業で体験 大変さ実感

は、総合的な学習の時間に米作りについて学習しています。初めに、あぶくま農学校に入校し、



編集委員 阿部稔紀、池田琉星、池田琉月、佐藤真悠(5年) 指導教諭 似内翔

秋には稲刈りを行います。のこぎり鎌を使い、手作業で行います。実際に刈ってみると、稲を束ねて刈ることが難しく、汗びっしょりになりました。コンバインでの作業では、稲を刈るだけできなく、もみと茎に分けることができないことを知り、

北郷小

学校名 角田市立北郷小学校
所在地 角田市岡阿弥陀入11の2
電話 0224(68)2345
校長 鈴木 博幸
児童 148人



迫力の太鼓響く

北郷小では、古くから北郷太鼓が受け継がれてきました。北郷太鼓は、力強く、とても迫力があり、見る人の心に響きます。太鼓クラブの人に話を聞くと、「演技を成功させたい一心で練習に臨んでいる」と話してくれました。北郷太鼓は、学習発表会のオープニングや地域のお祭りで披露され、地域の方にも親しまれています。



次回は 大沢小(仙台市) 東大崎小(大崎市)

大和小

学校名 仙台市立大和小学校
所在地 仙台市若林区大和町3の16の1
電話 022(284)2450
校長 工藤 昌裕
児童 588人



鐘鳴らし続ける

校庭に「大和の鐘」と呼ばれている鐘があります。午前8時25分、5・6年生計画委員2人が交代で鐘の音を鳴り響かせます。その後、朝の活動「大和タイム」の準備が始まります。桜の木の横に立っているこの鐘は、校歌の歌詞にもあり、学校の創立10周年に寄贈されたそうです。そして、今も私たちが鳴らし続けています。



大和小のあいさつの目標

100%が目標

自ら気持ちよいあいさつ

大和小学校では、「自分から進んで気持ちのよいあいさつが100%できる」という目標に向けて取り組んでいます。その取り組みの一つとして「あいさつ運動」をしています。計画委員会と生活委員会の児童がリーダーになって、全学年が交代で校門の前に立ちます。ポランテアで参加する児童もたくさんいます。相手を元気に声であいさつしています。計画委員会が実施したアンケートによると、自分のあいさつも友達へのあいさつも90%以上の児童が「よくできている」「できていない」と答えています。しかし、自分のあいさつはまだ完璧じゃないと考えている児童もいます。「大和小をよくす



編集委員 中山奈桜(6年) 鈴木花佳、常川晃志(5年) 指導教諭 佐藤克己

るためには」という質問に対して、あいさつに関するアイデアが一番多く集まりました。あいさつをもっとよくしたいという児童がたくさんいるようです。 あいさつ100%は簡単ではないけれど、大きな目標に向けて大和小の児童は毎日がんばっています。